

2022・2・11 県民の集い 資料

☆「建国記念の日」とは一体どういう日なのでしょう？

2月11日は戦前の大日本帝国憲法時代には、「紀元節」でした。「建国記念の日」は一言でいうと「紀元節」の新しい形での復活です。

☆「紀元節」とは何でしょう？

当時、「初代の天皇である神武天皇が従わない者どもを征服し、大和の橿原の宮でご即位遊ばされた日。日本が生まれた日」であると教えられていました。これは歴史的根拠もなく、天皇を権威づけるためにつくられた「神話」で、この日は天皇による支配を祝う日だったのです。私たちが主権者となった日本国憲法の時代になって廃止されました。

☆「紀元」とは何でしょう？

「紀元」とは、年を数える際の基準となる最初の年をいいます。明治政府は太陽暦の採用にあたって「神武天皇の即位したまえる年を以て紀元元年（BC660年）とする」ことを決めました。1940年には皇紀2600年として国を挙げて祝賀式典を行い、これにより国民の戦意を一挙に高揚したものです。

神武紀元というのは、ただ単に年代を数える便宜ということではなくて、天皇制のはじまりが国のはじまりであり、時間もまた天皇によって区切られるという、きわめて強い政治的・思想的な意味を負わされていました。敗戦後の民主化の過程の中で「紀元節」は廃止されましたが、神武紀元も使われなくなったのは当然といえるでしょう。

「日本書紀」によれば、神武天皇の即位のあらすじは次のようなものです。はじめ神武は九州の日向の国に住んでいたが、天下を支配しようと東へ向かって軍を進め、大和地方の豪族を討ち、占領してこの地で即位した。つまり民衆を武力で平定して天皇の権力をうち立てたということです。これを「神武東征」といっています。

☆天皇が時間を支配する元号制

元号は中国古代の専制君主制の時代に、皇帝が国土だけでなく時間をも支配するものとして万民を服従させる道具として作られ、日本でもこれをまねたものです。特に近代天皇制を打ち立てた明治に一世一代とし、天皇の生死によって時間が区切られ、元号はそのまま天皇を表現するものとなりました。民衆は出生、入学、卒業、結婚、死亡のすべての時を元号による年数で表記し、天皇と民衆が日常生活で不断に結びつけられたのです。

国民主権の日本国憲法の時代になって、元号による年号制も法的根拠が消滅しました。けれど根強い習慣と、国民主権の自覚がまだまだ薄いのを良いことに、政府与党は引き続き「昭和」の年号を使い、国民にも強制し、独立後、紀元節の復活に次いで1979年、一世一代の元号法を制定しました。

☆天皇自身が否定した「紀元節」と「建国神話」

84年9月6日、韓国全斗煥大統領が来日した折の歓迎昼食会の挨拶で、昭和天皇は重大な発言をしています。

天皇は日本の植民地支配を「不幸な出来事」として「遺憾の意」を表明、そして「わが国

は貴国との交流により多くのことを学びました。例えば、紀元6～7世紀のわが国の国家形成の時代には、「多数の貴国人が渡来し」と述べているのです。このことは天皇自身が、わが国の国家形成は神話による紀元前でなく、「紀元6～7世紀」と認識しているということです。

☆「国の誕生」とは？

中曽根元首相は、「祖国の誕生日をお祝いするのは自然の感情」といいました。国の誕生日と個人の誕生日とを同じに考えることができるでしょうか。国の誕生日とはどういう日のことなのでしょう。

神武紀元の問題点は、①歴史的に根拠のないものであること。②天皇が絶対権をもって民衆を支配する国家体制の誕生日であること。③天皇による国民統合の強化を目的として定めたものであることです。日本は明治政府がつくりあげた天皇主権の「大日本帝国」から、戦後、国民主権の「日本国」に生まれ変わりました。どうして神武紀元が「日本国」の誕生日といえるのでしょうか？

☆「建国記念の日」がなぜ2月11日なの？

この日が制定されたのは1966年です。当時の佐藤内閣が、右翼勢力や右派議員の突き上げを背景に、従来議員立法から政府立法に切り替え、大変な紛糾の末、力づくで成立させたものです。

「国民の祝日に関する法律」には、この日を「建国をしのび、国を愛する心を養う」と規定しています。あなは納得されるでしょうか？

☆「国民の祝日」の中の天皇制

「国民の祝日」の中には天皇制と国家神道体制時代の祝祭日が多数もぐりこんでいます。

現在の祝日	大日本帝国憲法時代の祝祭日のいわれ
1月1日 元旦	四方拝—天皇が天照大神はじめ神々に天皇制の無窮と天下太平、万民安寧を祈る儀式をした
2月11日 建国記念の日	紀元節
2月23日 天皇誕生日	即位した天皇の誕生日にあわせて天長節（てんちょうせつ）が定められた。新年（現在の元旦、1月1日）・紀元節（現在の建国記念の日、2月11日）・明治節（現在の文化の日、11月3日）とともに四大節の一つとして、盛大に奉祝された
3月 春分の日	春季皇霊祭—春の彼岸の中日に歴代の天皇の霊をみずから祭る日
4月29日 昭和の日	天長節—昭和天皇誕生日
7月 海の日	7月20日に最も近い第3月曜日。明治天皇が北海道・東北を視察し、帰路横浜港へ荒天の中、安着した日が7月20日であったことから
9月 秋分の日	秋季皇霊祭
11月3日 文化の日	明治節—明治天皇誕生日
11月23日 勤労感謝の日	新嘗祭—天皇が新穀を天地の神々にすすめ、ともに食する祭